前期基本計画進捗状況評価シート

施 策 名	目 標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
【5】安全で安心して暮らし、過ごせるまち									
(1) 消防・救急体制の強化	予防查察件数		327件	500件	219件	226件		軍人建反防火利家物の早期走止を徹底する。 また、年間の査察計画による立入検査を継続	消防総務課
	住宅用火災警報器設置率		71%	90%	85%		スーパーのレシートや路線バスでのアナウン	イベントやホームページを活用した設置維持 に向けた普及啓発活動を継続して行う。 今後は更に、住宅用火災警報器の効果に関す る理解と定期的な点検及び交換の必要性につ	消防総務課
	救命講習修了者数		549人	760人	27人		応をした。また、救急の目のイベントでは、	定例講習会の定員を増員して開催する。また、その他の講習依頼についても積極的に受け入れて実施していく。コロナ禍で中断していた中学生を対象にした救命講習は、担当部局と連携し実施するよう取組んでいく。	消防総務課
(2) 防災体制と地域防災力の向上	市民等の防災意識高揚を目的とした講演会及び出前講座開催数		15件	25件	2件	16件	マリンホールで行われた防災訓練をはじめ、 学校や自主防災会において実施した。「わた しの避難計画」に係る説明会も行った。	町内会、学校、施設等における防災訓練時や イベントなど集合する機会を捉えて、防災講 話や出前授業などを積極的に行う。「わたし の避難計画」の普及に努める。	危機管理課
	地域防災訓練の参加自主防災会数		57団体	65団体	42団体	52団体	12月第1日曜日「地域防災の日」にあわせ、 当日及びその前後において、各地区の特性を 生かした訓練が行われた。	災害種別に応じた訓練など、平時における災害への備えについて積極的に働きかけを行う。	危機管理課
	安全性について満足と感じる市民の割合		48%	60%	52%	47%	自主防災会における防災資機材等の整備が進 み、自助・共助の取り組みが浸透している。	令和3年7月伊豆山土石流災害により、地域の 安全性について不安を抱える人が多くなった と推察される。警戒避難体制や自助・共助の 取り組みの周知を図る。	危機管理課
(3) 安全・安心な暮らしの充実	刑法犯認知件数(平均)		238件	200件	163件	166件	の音声による同報無線やメールマガジン等で	引き続き熱海警察署や町内会、関係機関と協力連携し、防犯意識の向上を図るとともに啓発する。	危機管理課
	運転免許証返納件数(累計)		788件	1,000件	310件	575件	高齢ドライバーによる事故が増加しているな か、著名人による運転免許自主返納制度の周 知広報活動を実施。	引き続き熱海警察署と連携を図り、自主返納 制度及び各種支援施策の広報の推進	危機管理課